古文単語 本文で意味を決める ④

高校／意味の一覧なしで、本文から意味を書く

名前 _____

日付 _____

各本文の――線の語の意味を、右の「意味」欄に書きなさい。選ぶ一覧はなく、一覧表で覚えた語義を短く書きます。
その意味に決めた手がかりを、――線の語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（10字までを目安に）。
同じ語でも本文によって意味が変わります。その本文での意味を、一覧表の言い方で書きます。

1 かへる年、正月の司召に、親のよろこびすべき事ありしに、かひなき翌朝、
……（更級日記）

意味 | 手がかり

2 公事どもしげく、春のいそぎにとり重ねて、催し行はるる様ぞいみじきや。
（徒然草・第十九段）

意味 | 手がかり

3 楫取答へてまをす、「ここら船に乗りてまかりありくに、まだかくわびしきめを見ず。御船海の底に入らずは神落ちかかりぬべし。
……（竹取物語）

意味 | 手がかり

4 ひとり灯火のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするこそ、こよなう慰むわざなれ。
（徒然草・第十三段）

意味 | 手がかり

5 さて仕うまつる百官の人々に、あるじいかめしう仕うまつる。（竹取物語）

意味 | 手がかり

6 「実方は御手洗に影のうつりける所と侍れば、橋本やなほ水の近ければと覚えはべる。
……（徒然草・第六十七段）

意味 | 手がかり

7 よろづのとがは、馴れたるさまに上手めき、所得たるけしきして、人をないがしろにするにあり。（徒然草・第二百三十三段）

意味 | 手がかり

8 ……月の興も覚えず屈じ臥しぬ。つとめて舟に車かき据ゑて渡して、あなたの岸に車ひき立てて、……（更級日記）

意味 | 手がかり